

最近の迷惑メール ・ 詐欺メール事情

2025年3月21日

西松 薫

目次

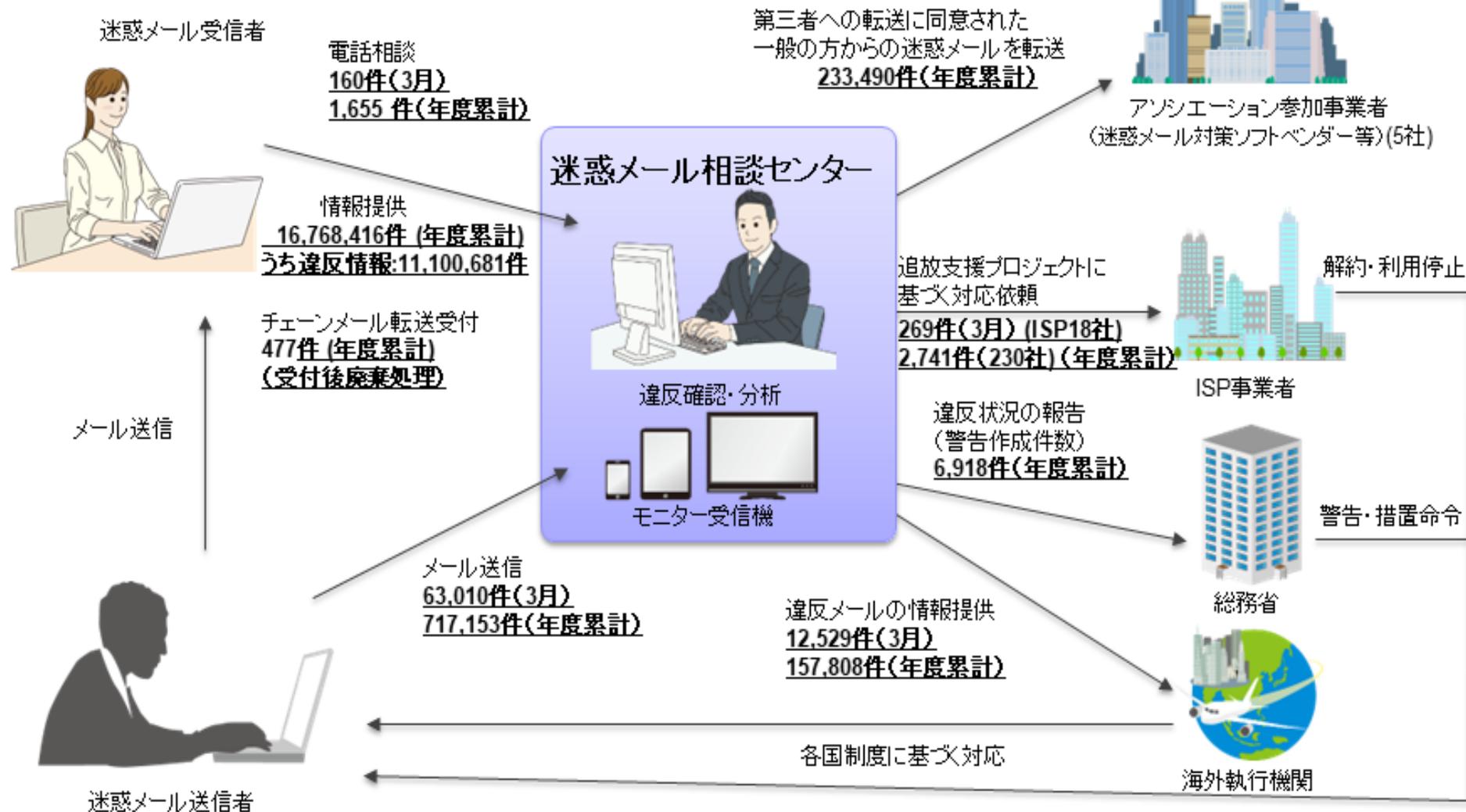
- はじめに
- 迷惑メール／詐欺メール状況
- 迷惑メール／詐欺メールの目的
- 迷惑メール／詐欺メールで気を付ける事
- 迷惑メール／詐欺メール被害防止策
- 迷惑メールよもやま話
- 参考情報

はじめに

- 西松 薫
- 2008年～2020年
（一財）日本データ通信協会 迷惑メール相談センター
<https://www.dekyo.or.jp/soudan/index.html>

迷惑メールに関する電話相談
迷惑メール送信者への対応
迷惑メール対策の周知啓発活動

R5年度運用状況活動実績



出典【一般財団法人日本データ通信協会】

<https://www.dekyo.or.jp/soudan/contents/info/index.html>

迷惑メール／詐欺メール状況

- **今でもメール総数の約4割（15年前は約7割だった）**
（出典：総務省、電気通信事業者10社の協力により、総務省がとりまとめ）
- **迷惑メールにはいろいろな種類がある**
 - 広告メール
 - 詐欺メール
 - フィッシングメール（情報詐取、ウイルス感染）
 - 標的型攻撃メール（ビジネスメール詐欺、ランサム）
- **電子メールだけでなく、SMSやSNS(LINE／Xなど)でも**

迷惑メール／詐欺メールの目的

- 目的は金儲け、そのため受信者にアクションを起こさせる事
購入、個人情報詐取、クレジットカード情報詐取など
- 通常の連絡の振りをする
宅配の不在通知、登録更新通知など
- 興味をそそる物を提示してくる
楽しい話、面白い話、儲け話など
- 慌てさせる
直ぐに対処しないと大きな問題になる、と慌てさせる
ウイルス感染通知、クレジットカード不正利用通知など

迷惑メール／詐欺メールで気を付ける事

- 送信者は本物か、と疑う
- 自分宛ての物か注意して確認する
→メールアドレスを通知して無いのに届くのは変！
- 急かされても、決して慌てない
→「メール」は直ぐに読まれないのに「緊急連絡」は変！
- メール中のリンク先、電話番号、メルアドは信じない
→連絡先は、自らネット等で調べる
- そんな「うまい話」がある訳無い、と疑う
→偶然、たまたま、等は有り得ない
- 被害事例を日頃から知っておく

迷惑メール／詐欺メール被害防止策

- 安易に新しいサイトに登録しない
- 安易にクリックしない
- 新規に登録する際、登録先が信用できるところか確認
- パスワードの使いまわしを控える
- 必要に応じて「捨てアドレス」活用
- 迷惑メールフィルターを利用
- ウィルス対策ソフトを利用
- ソフトウェアのアップデートを忘れずに

迷惑メールよもやま話

- **迷惑メールは安価な道具**
切手代不要、紙代不要、印刷不要、人手不要、大量送信可能
- 「成功率の低さ」を「送信量」でカバー
- 「分業化」が進んでる
メルアド、送信サーバ、中継サーバ、ウェブサーバ、
レンタルサーバ、ISP、2次ISP、独自ドメイン、本文作成、
サイト作成、個人情報販売、クレジットカード情報販売等
- 「法規制」に国境があるが、インターネットに国境は無い
- 生成AIで迷惑メールが高度化！
- フィッシング詐欺
- SNS型投資詐欺
- サポート詐欺

フィッシング詐欺

- 宅配業者
- クレジットカード会社
- 銀行（金融機関）
- マイナポイント
- 国税庁
- 還付金
- 水道局
- 当選メール

タイトル : お荷物お届けのお知らせ

送信者 : ヤマト運輸株式会社

【受け取りの日時や場所をご指定ください】

お荷物情報: ご不在

送り状番号: 6407-4407-xxxx

サービス名: 宅急便

荷物の配送状況を確認する

<<https://pfpdfnpocdwdcdgf.com/pfpdfnpocdwdgfdgf>>

※再配達手続きが2日以内に完了しない場合、商品は自動的に発送元に返送されますので、ご注意ください。

ご協力に感謝いたします。

タイトル : JCBカードロック解除についてのご案内

送信者 : MyJCB

JCBカード利用者様

ロック解除をご希望の際は、以下のリンクをご確認ください。

<https://myjcbhelp.com/tetsuzuki/login.htm>

敬具

**株式会社ジェーシービー
東京都港区南青山5-1-22**

©JCB Co., Ltd. 2025

タイトル : (入出金制限)三菱UFJ銀行からの重要なお知らせ
送信者 : 三菱UFJ銀行

三菱UFJ銀行から入出金制限のお知らせ

お客さまのお取引を規制させていただきましたのでお知らせします。

取引規制日時 : 2025/3/17

取引規制内容 : ・ 出金規制 ・ 入金規制

規制解除するには下記へアクセスし、お手続きしてください。

▶規制解除

※取引制限について

**2025/3/21 までにご回答いただけない場合、
お客様の口座を解約させていただくことがございます。**

タイトル : e-Tax税務署からの【未払い税金のお知らせ】

送信者 : 国税庁 <drxmtdq@wsaz.net>

e-Taxをご利用いただきありがとうございます。

あなたの所得税と滞納金について、これまで自主的に納付されるよう催促してきましたが、まだ納付されておられません。最終期限までに納付がない場合、税法により不動産、自動車などの登記登録財産や給料、売掛金などの債権などの差押処分に着手致します。

納税確認番号 : **8945**

滞納金合計:2398円

納付期限:2025-3-21

お支払いへ⇒

発行元 : 国税庁

© NATIONAL TAX AGENCY ALL Rights Reserved. 2024

SNS型投資詐欺

- **金融商品投資詐欺（有名人を騙る金融商品勧誘）
871億円（2024年1月～12月、警察庁発表）**
- **著名な投資家、起業家、評論家、などの詐欺広告
（堀江貴文、前澤友作、ビル・ゲイツ、
イーロン・マスク、池上彰、孫正義、
柳井正、森永卓郎、宮崎駿、
田村淳、西村博之、大坂なおみ）**

(日本経済新聞 2025年2月6日10時08分)

SNS詐欺被害倍増の1990億円 24年、刑法犯も3年連続増

2024年の刑法犯認知件数は前年比4.9%増の73万7679件だったことが6日、警察庁のまとめで分かった。認知件数の増加は3年連続。SNS型投資詐欺などネット空間での詐欺犯罪が目立ち、**被害額は約1990億円で前年から倍増**した。SNS上で実行役を募る「匿名流動型・犯罪グループ（トクリュウ）」が治安の脅威となっており、警察は対策を急ぐ。

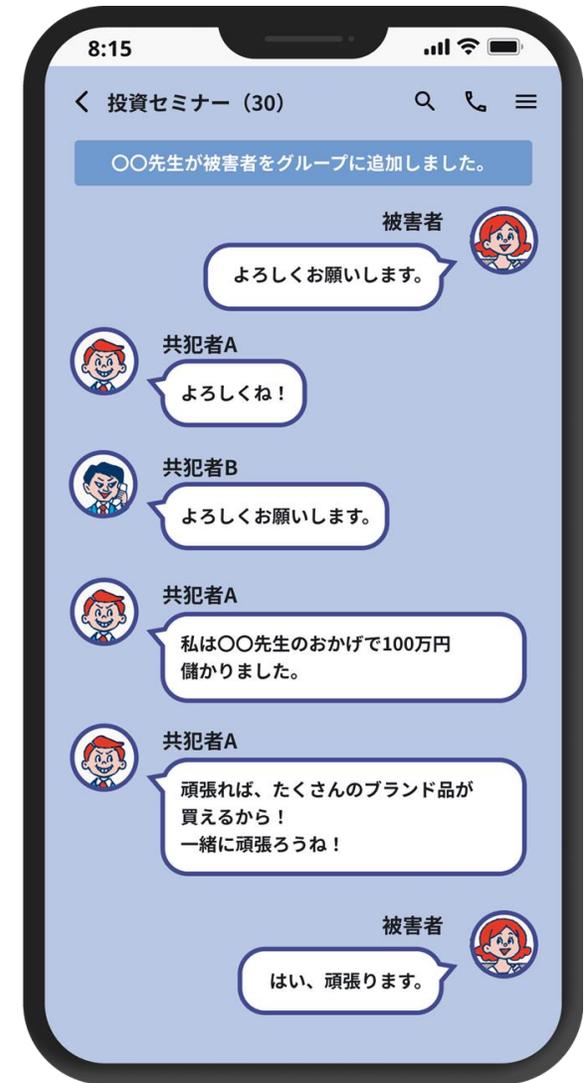
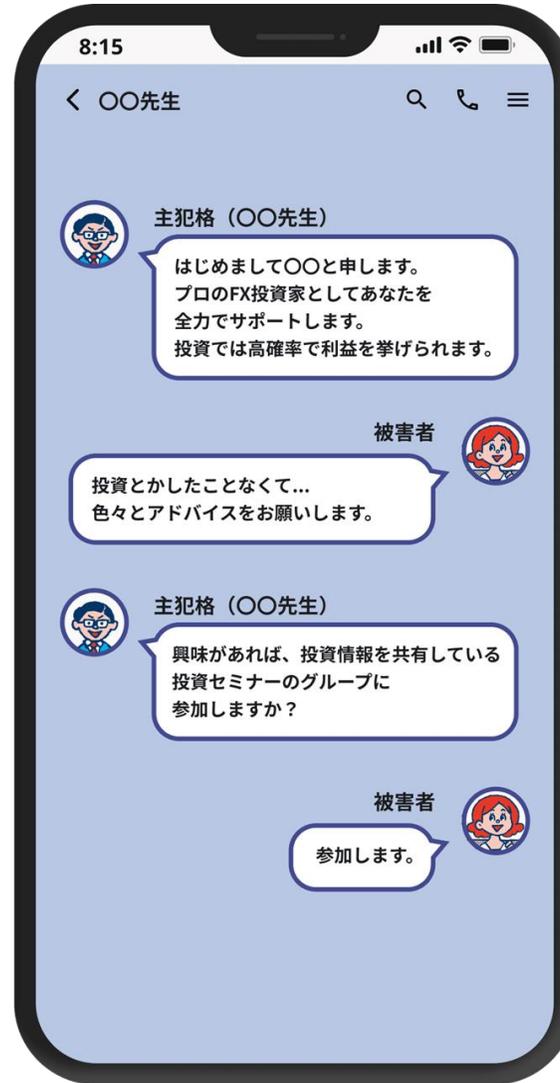
刑法犯認知件数は02年（約285万件）をピークに減少が続き、21年は約56万8千件と戦後最少だった。新型コロナウイルス禍の行動制限が緩和された22年以降に増加へ転じた。24年は3年連続で増えた一方、コロナ前の19年（74万8559件）は超えなかった。24年の検挙率は38.9%で、前年比0.6ポイント上がった。治安情勢について警察庁は「推移を注意深く見極めていく必要がある」としている。

24年は**財産を狙う犯罪の増加**が目立った。窃盗や詐欺などによる被害は前年比59.6%増の4021億円に上った。1989年以降でピークだった02年（3759億円）を上回った。このうち詐欺被害は23年の1.9倍になり、財産犯被害全体の76%を占めた。

手口では虚偽広告で金銭を集める**SNS型投資詐欺**（被害額871億円、暫定値）、恋愛感情につけ込みだます**SNS型ロマンス詐欺**（同397億円、同）が猛威を振るっている。電話による「オレオレ詐欺」などの特殊詐欺の被害も722億円で過去最悪だった。

これら3類型の被害額の合計は約**1990億円**に上り、**23年（約908億円）から2倍以上**に急増した。

SNS型投資詐欺 - 手口 (1/3)



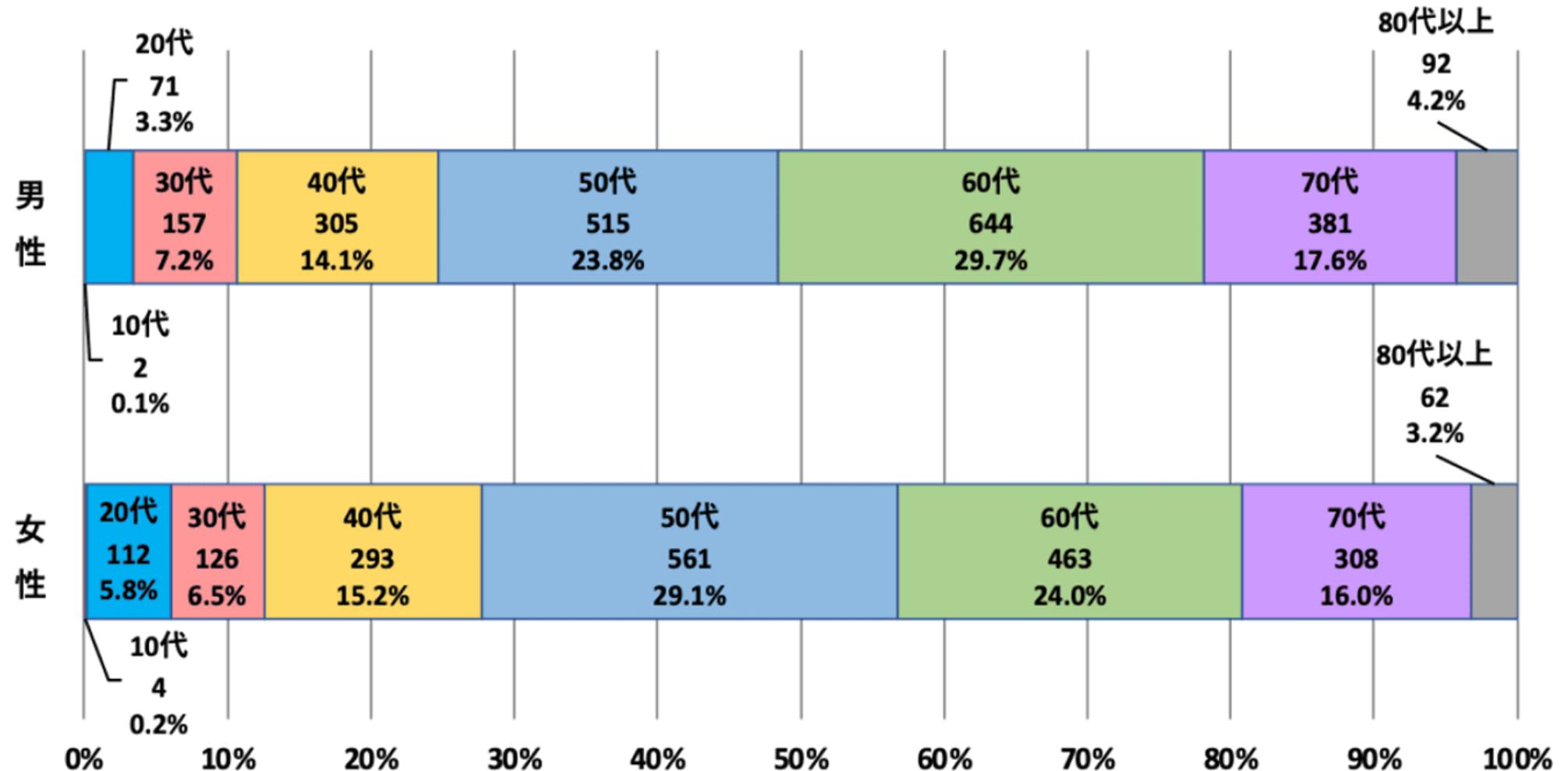
SNS型投資詐欺 - 手口 (2/3)



SNS型投資詐欺 - 手口 (3/3)



SNS型投資詐欺-被害者



SNS型投資詐欺-被害防止のポイント

- 投資先が実在しているか・国の登録業者かどうか
- 「必ずもうかる」や「あなただけ」といった文言に注意
- 投資を勧めている「著名人」がなりすましでないか
- 投資にする「暗号資産」や「投資アプリ」等が実在するか
- 振込先の口座が個人名義や毎回変わる等不審な点はないか

サポート詐欺

- 手口
 - 警告画面、ウイルス感染通知
 - サポートセンター電話連絡先表示
 - 遠隔操作ソフトのインストール指示
 - 有償サポート案内
 - クレジットカード／ギフトカード等での支払い
- 危険
 - 個人情報漏洩、口座乗っ取り、アカウント乗っ取り
- 画面の閉じ方
 - Escキー押下
 - Ctrl + Alt + Delete同時押下→タスクマネージャー

参考情報

- サポート詐欺関連
 - JC3 - サポート詐欺の電話番号に電話をかけてみた
 - IPA - 偽セキュリティ警告（サポート詐欺）対策特集ページ
- 犯罪・防犯情報 - 各都道府県警より
 - メール警視庁 (東京)
 - ピーガルくん安全メール (神奈川)
 - 犯罪情報官 (埼玉)
 - ちば安全・安心メール (千葉)
 - ひばりくん防犯メール (茨城)
 - ルリちゃん安全メール (栃木)
 - 上州くん安全・安心メール (群馬)
- 総務省より
 - 上手にネットと付き合いおう！～安心・安全なインターネット利用ガイド～

(Internet Crime Report 2023, FBIより)

米国では第1位が投資詐欺、第2位がビジネスメール詐欺、第3位がサポート詐欺

FBIのInternet Crime Complaint Center（インターネット犯罪苦情センター、IC3）が発表した2023年のInternet Crime Reportによると、昨年2023年に米国で報告されたサイバー犯罪の被害届件数は前年比で79,474件増加し、損失額は125億ドル（約1兆8750億円）といづれも過去最高を記録した。

- 1位の投資詐欺が急増し、2022年の33億1,000万ドルから2023年には45億7,000万ドル（約6855億円）へと38%増加
- 2位のビジネスメール詐欺（BEC）の被害届出件数は21,489件、損失額は29億ドル（約4350億円）を超え、2022年比で7.4%増加
- 暗号資産が、投資詐欺とビジネスメール詐欺（BEC）の両方で多用された
- 3位は技術サポート詐欺（約1402億円）で高齢者の被害が多い
- 4位は個人情報流出（約1116億円）、5位はロマンス詐欺（979億円）

(中学受験・高校受験・ガ医学受験ニュース 2024年1月18日)

神奈川県公立高校入試でGmailが使えない障害が発生・その原因は？

2023年末頃からGmailがセキュリティを強化しており、「システムから送信されるメール」でかつ「なりすまし防止の認証 (SPF・DKIM・DMARC) を行っていない配信メール」については、メールの送信をブロックし、送信元「envelope-from」のアドレスにエラーメール（メーラーデーモン）を返すケースが多発しております。

(中略)

神奈川県教育委員会は、神奈川県公立高校入試のインターネット出願の受付を新システムで2024年1月4日から開始しましたが、このシステムから送信されるメールをGmailで受信できず、Gmailユーザーの志願者はアカウントを作成できず、出願ができないという異常事態が発生しました。

(中略)

当初、X（旧・ツイッター）などネット上では「SPF・DKIM・DMARC」の未設定を疑う声が多く上がっていましたが、他アドレスでシステムからメールが届いた志願者が公開している情報では「SPF・DKIM・DMARC」認証はいずれも合格 (Pass) となっており、原因は他にありそうです。

現時点では確かなことは分かりませんが、

- ・ 短期間で大量のメール送信があったためGmail側がブロックした
- ・ 神奈川県側の設定ミス

など様々な憶測が飛び交っています。

(NHK北海道 NEWS WEB 2025年3月5日18時17分)

道や市町村から送信のメール 届かないトラブル相次ぐ

道によりますと、トラブルが確認されたのは道や道内すべての市町村が使っているメールサーバーで、4日夕方から外部に送ったメールが届いていないケースが相次いで確認されたということです。

道がサーバーの管理業者などを通じて調べたところ、**迷惑メールとみなされ**、受信する側のセキュリティ対策ソフトによってメールがブロックされているとみられることがわかったということです。

外部からのメールが道などに届いていない可能性もあるということで、道は5日関係部局が会議を開き、対応を話し合いました。

この中で道の担当者は、多くの対策ソフトが利用する**迷惑メールのリスト**を作っている団体に、道などのメールを**リストから外すよう求めている**ことを報告しました。

サイバー攻撃の兆候は確認されていないということです。

復旧には数日かかる可能性もあるため、当面の対策として、メールで受け付けている各種申請は締め切りを延長することとしています。

また道からの情報はホームページや電話で確認してほしいとしています。

(山形放送 YBC NEWS NNN 2025年3月12日18時49分)

「山形鉄道」1億円の被害 ボイスフィッシング詐欺の被害として 山形県内最大規模か

山形銀行を名乗る不審な電話を受けた山形県内企業の被害が続発している事件で、フラワー長井線を運営する第三セクター「山形鉄道」がおよそ1億円の被害に遭っていたことが分かりました。

この事件は山形銀行をかたる不審な自動音声電話が10日県内企業に相次ぎ、複数の企業がネットバンキングによる不正送金の被害を受けたものです。

このうち長井市に本社があり、フラワー長井線を運営する第三セクター・山形鉄道では1億828万円の被害に遭ったことが分かりました。

山形鉄道によりますと10日昼頃、**山形銀行を名乗る自動音声電話**が入り、**ネットバンキングの情報更新を依頼**されたということです。

担当者が自動音声に従い対応したところ、**山形銀行職員を名乗る男が出て、担当者のメールアドレスを聞き取り、偽サイトと思われる画面に誘導され、ログイン情報やパスワードを入力**しました。その後、すぐ不審なことに気づきましたが、すでに現金が他の口座に不正送金されたということです。

(続く)

(続き)

山形鉄道は県が筆頭株主となっている第三セクターで、12日の県議会で県の担当者が被害を報告しました。

県総合交通政策課・岸威顕主幹「現在、経緯や原因の詳細、具体的な影響について確認中です。山形鉄道と沿線の2市2町、置賜総合支庁が中心となり、被害の影響をふまえながら対応を検討している」

関係者によりますと山形銀行を名乗る不審電話による被害はこれまでに少なくとも村山地方の複数の企業でも確認されていて被害総額は十数億円にのぼる可能性があるということです。

警察によりますと電話や音声メッセージで銀行の担当者などを装って機密情報を聞き出し金をだまし取る一連の手口は「**ボイスフィッシング**」と呼ばれています。県内でこれまで発生したボイスフィッシングによる被害としては過去最大規模とみられ、警察で詐欺事件として捜査を進めています。

山形銀行によりますと、顧客などへの聞き取り調査から不審な自動音声電話が確認されたのは10日のみで、発生日以降、詐欺被害は拡大していないとみられるということです。山形銀行では自動音声による案内は一切行っておらず、電話やメールなどで契約情報やパスワードなどを聞くことも一切ないとして、利用者への注意を呼びかけています。また、被害の発生を受け、現在、インターネットバンキングによるほかの銀行への即時振り込みの機能を停止しています。

(警察庁・SOS47 特殊詐欺対策ページ 2025年2月14日(金))

警察官をかたる詐欺が増加中

自宅の固定電話や携帯電話あてに、**警察官を名乗り**、

「あなたの口座が犯罪に使われている」

「あなたの携帯電話が不正に契約された」

などと様々な理由をつけて、「**資産を保護する**」、「**口座を調査する**」などといって、現金をだましとったり、振り込ませたりする詐欺の手口が増加しています。

警察官役の犯人は、「**あなたは逮捕される**」などと不安を煽ったり、**偽の警察手帳や逮捕状**を見せてくるケースもあります。電話会社や総務省等を名乗り、「携帯電話の未納料金がある」などといった後に、警察官役に交代するケースや、**SNS・ビデオ通話での連絡に移行**するケースもあるので、注意が必要です。

【被害状況】

- ・認知件数、被害額ともに増加
- ・特に、被害額の増加が顕著

【被害者の年齢・性別構成】

- ・被害は幅広い年代に及んでいる
- ・特に、30代から50代の被害が増加

(続く)

(NHK NEWS 2025年3月13日17時37分)

“新宿警察署の代表番号から不審電話” 新手口の特殊詐欺か

新宿警察署の代表番号から不審な電話がかかってきたという相談が、13日までの3日間に全国から400件以上寄せられていることがわかりました。警視庁は実在する番号を悪用した新たな手口の特殊詐欺の可能性が高いとして注意を呼びかけています。

警視庁によりますと、都内では、去年1年間に警察官をかたった詐欺の電話が806件確認されていて、ことしはさらに増加傾向にあるということです。

こうした中、新宿警察署の代表番号から不審な電話がかかってきたという相談が13日までの3日間に全国から400件以上寄せられているということです。

「新宿警察署の捜査2課」や「奈良県警の警察官」を名乗り「あなたに犯罪の容疑がかかっている」などと言って、LINEなどに誘導したうえで金を振り込ませる手口だとみられています。

これまでも、電話番号の前に「+」と国番号が表示される国際電話で、末尾が「0110」の警察署を装った番号が使われるケースはありましたが、ことし2月になって初めて、国内からの発信に見せた実在する警察署の番号から電話がかかってきたのが確認されたということです。

新宿署以外にも、警視庁本部や都内の別の警察署の番号が表示されるケースがあり、着信画面を見ただけでは詐欺の電話と判別することはできません。

現時点では実在する警察署の番号が表示される仕組みはわかっていないということで、警視庁は確認を進めるとともに、警察から電話があった場合、いったん電話を切って、代表番号にかけ直したり、家族や周囲の人に相談したりするよう呼びかけています。

(埼玉新聞 2025年3月18日13時28分配信)

男性会社員ショック…1150万円を失う 朝スマホに電話あり、警官が「6千万円入金」と説明…実は詐欺師 信じた男性会社員、1150万円を送金 すぐに異変を感じて警察に相談、現金は戻らず手遅れだった52歳

埼玉県警幸手署は17日、久喜市の男性会社員（52）が振り込め詐欺で現金1150万円をだまし取られたと発表した。

同署によると、10日午前8時半ごろから数回にわたり、男性のスマートフォンに警察官を装う男から「あなた名義の口座に6千万円の入金があり、振り込め詐欺に利用されている」「お金を移動させる必要がある」などと電話があった。信じた男性はインターネットバンキングなどを利用して3回にわたり、指定口座に現金1150万円を振り込んだ。不審に思った男性が同日、警察に相談し、だまされたことに気付いた。同署で詐欺事件として捜査している。

(TBS NEWS DIG 2025年3月18日17時20分配信)

“警察官騙り”の特殊詐欺事件 今年1月～2月で1039件、被害額100億円超

警察官を装って金をだまし取る特殊詐欺事件が全国で急増し、被害は今年に入ってからすでに1000件以上、被害額は100億円に上っていると警察庁が明かしました。

警察庁によりますと、警察官を装って金をだまし取る特殊詐欺事件の認知件数は今年1月から2月末までに**1039件**、被害額はすでに**106億2000万円**に上りました。

実在する警察署など警察関連施設の電話番号を着信画面に不正表示させる手口が全国で急増しているということです。こうした手口は、去年1月からきのうまでにあわせて1458件確認され、このうち、▼**警視庁新宿警察署**が788件、▼**警視庁本部**が171件、▼**兵庫県警本部**が94件でした。

警察庁によりますと、インターネット回線を利用した電話アプリの中には、「表示番号を変えられる」とうたっているものもあるということです。

警察庁は「**警察官が電話で捜査対象だと伝えることはなく**、SNSで連絡することはありません」としたうえで、「そのような電話があれば詐欺です。**電話を切って必ず#9110に電話してください**」と注意を呼びかけています。